

真和館だより 第15号



風の彩り

真和館のアルコール依存症対策の現状

～地域復帰へ向けての取り組みが始まりました～



施設長 藤本和彦

4月16日に開催された「アルコールに関するスタッフミーティング」(県精神保健福祉センター主催の精神科病院等のアルコールスタッフを対象にした研修会)の場で、「真和館のアルコール依存症対策について」話しをする機会を頂きました。その冒頭で、「4月16日は、真和館に取って記念すべき日になりました。それは、真和館がアルコール依存症の方に社会復帰をして頂くために意図的・計画的に訓練をした初めてのことが、本日、真和館を退所され、地域でアパート生活を始められる日となったことでもあります」という話をさせて頂きました。

ご承知のとおり、真和館は、平成18年4月の開設以来、入所者の半分近くが、アルコール依存症者ということで、懸命にアルコール依存症者に向き合うと共に、その回復に向けた取り組みを模索続けて参りました。この10年間を簡単に振り返ってみますと、①施設内における隠れた飲酒に苦勞した開設当初、②外出された際に、年に1～3人の方が飲酒されていた時代、③そして、一切飲まれなくなった現在と、「飲まない環境づくり」は、一歩一歩前進して参りました。

そこで、平成25年度からは、「施設内で飲まない」取り組みを一歩前進させ、「施設を退所してからも、飲まない」支援に比重を移すことになりました。その成果が具体的に表れたのが、冒頭の話だったわけです。

現在の真和館のアルコール依存症対策は、アルコール依存症ゆえの心の歪みを正し、施設退所後も、飲まずに暮らして行けるように、①アルコール専門病院への通院、②自助グループへの参加、③抗酒剤の服用などを、しっかり守って頂く訓練をしています。

具体的には、①地域の自助グループの例会やミーティングに入所中から参加させていただき、退所後の仲間づくりをします。そのために、いつでも(夜でも)、どこへでも希望されるミーティングへ職員がお連れします。また、県内外で開催されるアルコール関連の大会等にも、できるだけお連れします。②地域で生活するための実践的な訓練の場として、アパートを借り、そこで、食事や寝泊りをして頂きます。③アルコール依存症特有の心の歪みに気付いて頂くために、カウンセリングやピアカウンセリングができる体制を整えています。また、内観療法や認知行動療法の取り組みも始めました。④退所後は、訪問したり、電話したりして支援をする「訪問指導事業」も立ち上げています。

今後とも真和館の社会的使命として、アルコール依存症者が、地域社会に帰ってからも、飲まないで暮らして行ける取り組みに注力して参ります。

医務室便り

梅雨が明けると、いよいよ本格的な夏の到来です。夏と言えば、海、キャンプ、バーベキューなど、特にアウトドア派には持って来いの季節でもあります。しかし、これからの時期、注意しなければいけないのが「熱中症」。今年は例年に比べ「熱中症」の発症が早いともいわれています。そこで、今回の医務室便りには「熱中症」についてよくある質問をいくつかご紹介いたします。

Q:熱中症ってなんですか?
A:高温多湿の環境下で、体内の水分や塩分(ナトリウムなど)のバランスが崩れたり、体温調整コントロールがうまくいかずに体温が上昇し過ぎてしまう事で起こる症状のことです。

Q:どんな症状が出るんですか?
A:めまい・頭痛・吐き気・失神・異常な体温上昇・異常な発汗などが出ます。

Q:予防するにはどうすればいいんですか?
A:外出時は帽子を被り、できるだけ通気性の良い服装をしましょう。また、こまめに休憩をとり、水分補給をすることが重要です。汗を掻くと体内の塩分が減るので、スポーツドリンクを飲むのもいいでしょう。



お誕生者の案内

7月	8日 本川さん	9月	2日 安井さん
	16日 前川さん		27日 中島さん
	19日 東條さん	10月	28日 松本さん
	23日 外井さん		4日 藤岡さん
8月	24日 本田さん	11月	1日 雨森さん
	6日 木山さん		24日 河野さん
	18日 佐藤淳さん	12月	25日 粟井さん
	21日 久義さん		3日 永田さん
	23日 下園さん	8日 西山さん	
	27日 増本さん	9日 尾崎さん	
31日 宮本さん	14日 橋本さん		
			21日 大塚さん

発行: 社会福祉法人 致知会
救護施設 真和館
〒861-2401 熊本県阿蘇郡西原村鳥子3072番地
TEL:(096)279-1121 FAX:(096)279-1122
E-mail:shinwakan@utopia.ocn.ne.jp
HP:http://www2.ocn.ne.jp/~titikai/index.html

みなさん、こんにちは!
調理室からです。
真和館では、入所者の方に四季を感じていただけるよう、様々なメニューを提供しています。7月の行事のメインは、7月7日の七夕ですね!今回は、簡単にできて、七夕の日を彩る七夕ゼリーの紹介です。入所者のみなさんからも、見た目もきれいで、七夕を楽しめるとのお言葉をいただいています。

- ★材料(1人分)
- ・サイダー 85ml
 - ・水 15ml
 - ・上白糖 5g
 - ・着色料(青) 少々
 - ・イナアガー 2g
 - ・フルーツ お好みで
- 星形牛乳寒
- ・牛乳 20ml
 - ・水 5ml
 - ・上白糖 1g
 - ・寒天 0.5g

- ★作り方
- 最初に星部分の牛乳寒を作ります。
 - ①水と寒天を合わせ、沸騰させる。
 - ②牛乳と上白糖を合わせ温め、①を混ぜ合わせる。
 - ③②をバットに薄く流し入れ、冷やし固める。
 - ④③が固まったら、星形に切り抜いておく。
 - 全体を作ります。
 - ①鍋に水、上白糖、イナアガーを入れ、温める。
 - ②サイダーをボールに出し、①を加え、混ぜ合わせ、着色料で青色にする。※かき氷の蜜を使ってもきれいに染まります。
 - ③②を容器に移します。この時に、星形牛乳寒と、お好みでフルーツを入れて下さい。
 - ④③を冷やして、固まったら完成!



新任職員紹介



香山真弓

阿蘇の大自然に憧れて、福岡から移住して参りました。入所者の皆様の心に寄り添った支援を心がけていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。

編集後記

7月に入り、梅雨明けも間近となりました。今回の風の彩りは、内観療法と卓球バレーを大きく掲載させて頂きました。卓球バレーは、10月に開催される全国障害者スポーツ大会に出場できるよう、皆さん一生懸命練習に励んでおられます。皆さんの念願が叶うよう全員で盛り上げて行きたいと思っております。梅雨が明けると本格的な暑さが到来して参ります。休養と栄養をしっかりとって、暑さに負けないよう皆様も気をつけてお過ごし下さい。

<編集責任>
田上

*「風の彩り」に掲載されている写真等は、ご本人の了解を得ております。

創立9周年記念式典

真和館は、平成27年4月28日で創立9周年を迎えました。
 毎年、創立記念日にはテーマを決めて、記念文集を作成し、創立記念式典の席で希望される方は自分で書いた記念の文章を発表されます。毎年多くの方が発表を希望されています。
 式典では、記念品贈呈があり、合唱クラブによる「おぼろ月夜」と女性職員によるハンドベル、ピアノ、ミニキーボード他による演奏を披露し、式場の全員で「ふるさと」を歌いました。
 今年のテーマは「ありがとう」。みなさん、いろいろな形の「ありがとう」を文章にされ、式場ではたくさんの「ありがとう」の花が咲いていました。



入所者統計

1) 障害区分状況 H27年4月1日現在

	身体障害	知的障害	精神障害	重複障害			生活障害	合計	(内アルコール依存症)
				身体障害と精神障害	知的障害と精神障害	身体・知的・精神障害			
男	4	7	38(17)	4	6	1	1	39	(22)
女	1	2	16(10)	1	2	0	0	16	(4)
計	5	9	54(27)	5	8	1	1	55	(26)

※身体(3級以上)・知的・精神障害(3級以上)の数は手帳所持者の数であり、合計とは一致しない。
 ※精神障害の()内は統合失調症者の数である。

2) 年齢別入所者状況

	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~79	80~	合計
男	2	1	11	8	7	10	0	39
女	0	1	4	1	6	4	0	16
計	2	2	15	9	13	14	0	55

平均年齢 男)62歳11ヶ月 女)64歳7ヶ月 全体)63歳5ヶ月

平成26年度 決算報告

貸借対照表
平成27年3月31日現在

法人合計		法人合計	
科目	当年期末	科目	当年期末
流動資産	62,197,320	流動負債	13,990,798
固定資産	418,087,574	固定負債	46,823,865
建物	371,675,109	負債の部合計	60,814,663
土地	7,881,175	純資産の部	
構築物	5,308,344	基本金	58,351,175
車両運搬具	3	国庫補助等特別積立金	172,364,364
器具及び備品	2,313,288	施設整備等積立金	23,500,000
その他固定資産	30,909,655	次期繰越活動収支差額	165,254,692
		(うち過期活動収支差額)	38,374,158
		純資産の部合計	419,470,231
資産の部合計	480,284,894	負債及び純資産の部合計	480,284,894

事業活動収支計算書
(自)平成26年4月1日~(至)平成27年3月31日

法人合計	
勘定科目	決算
サービス活動収益計	201,263,480
サービス活動費用計	173,158,556
サービス活動増減差額	28,104,924
サービス活動外収益計	12,970,029
サービス活動外費用計	2,700,794
事業活動外収支差額	10,269,235
経常増減差額	38,374,159
特別収入計	0
特別支出計	1
特別収支差額	-1
当期活動増減差額	38,374,158
前期繰越活動増減差額	107,380,534
当期末繰越活動増減差額	145,754,692
その他の積立金取崩額	34,000,000
その他の積立金積立額	14,500,000
次期繰越活動収支差額	165,254,692

真和館のミーティングの取り組み

真和館の様々なミーティング

真和館には、アルコール依存症を患っている方が半数以上おられます。また、クロス(重複した)アディクションを持たれている方も大勢おられます。そのため、真和館では、それぞれの依存症からの回復を目指して、下記の取り組みを実施しています。



- ①毎朝の断酒の誓い
- ②アルコールミーティング(毎週 水曜日 14:00~15:00)
- ③女性アルコールミーティング(毎週 木曜日 16:00~17:00)
- ④週に1回薬物ミーティング(毎週金曜日 16:00~17:00)
- ⑤ギャンブルミーティング(GA熊本のローズ様に来館して頂き、ご指導を仰いでいます。)

自助グループや勉強会への参加

地域社会への自立を念頭に、アルコール依存症の方に、AA熊本手取グループ、AA肥後大津グループ、益城病院断酒会、アメンスト、集まる会(人吉・球磨断酒会)にお連れし参加して頂いています。居場所を作って行くのは職員ではなく、ご本人にしかできません。自助グループは、「一人ではない」「飲まない人達の輪の中に入れば、飲まないで生きていける」という、勇気と希望を感じる所であり、同じ病気の方々の経験をお聴きしたり、交流を通し、お酒を飲まないで生きるヒントが溢れている所です。



また、薬物依存症に関しては、熊本県精神保健福祉センターで開催されているKUMARPPにお連れしています。県のスタッフや同じ薬物依存症者と病気について深く学び、同じ病気の方の話をお聴きすることが回復に結びついています。

依存症に関する学習会・研修・イベントへの参加状況(平成26年度)

スタッフの引率の下、入所者と職員は様々なフォーラムや大会に参加しました。
 ①依存症に関わるスタッフミーティング、②アルコール関連問題学会、③自省館視察、④アルコール依存症研修会・講演会、⑤AA九州・沖縄地域ラウンドアップin鹿児島、⑥全日本断酒連盟九州ブロック(熊本)大会、⑦ブリーフインターベーション、⑧アメンスト、⑨AA熊本地区オープン・スピーカース・ミーティング、⑩九州看護研修会熊本大会、⑪AA全国・矯正保護施設メッセージフォーラム、⑫家族会講話会(益城病院)、⑬内観療法ワークショップin熊本、⑭熊本アディクションフォーラム、⑮球磨・人吉地域合同断酒会、⑯内観療法

SFAプログラムの取り組み

平成27年6月から週1回、SFA(Social Functioning Ability 社会生活力)プログラムを実施しております。SFAプログラムとは、生活の基本を確立し、自分自身や自分の障がいを理解し、自信をもって自分らしく生きていくことです。さらに、各種のサービスや社会参加する方法を学び、活用できるようにしていきます。プログラムの内容は、①生活の基礎をつくる、②自分の生活をつくる、③自分の理解とコミュニケーション、④地域生活を充実する、⑤自分の権利をいかに5部門から構成されます。また、知識学習、グループ討議、ロールプレイ等を通して、参加者一人ひとりが自分で考え、自分なりの意見を発表します。以上のように、入所中から、社会生活力を高め、自信をもって地域生活ができるように支援をしていきます。



内観療法



内観は、密接な関係の人から順番に、「してもらったこと」「して返したこと」「迷惑をかけたこと」の3点について人生の全てを調べていきますが、実は、自分の過去を振り返り、自分の内面を深く観ることができます。それにより、アルコール依存症を抱えた人も、沢山の愛情を受けて育ってきたことに気づき、今後の生き方に変化がみられると言われていました。

真和館では内観療法を取り入れるためにこれまで、職員3名、入所者一名が、鹿児島県にある、医療法人全隆会 指宿竹元病院にて、7泊8日の集中内観を受けさせて頂きました。内観療法を導入するため、これからも職員を派遣して行きます。

平成27年6月9日～6月16日 Tさん(男性入所者)

午前11時に到着し説明を受け、内観所へ通され食事を摂り、すぐに集中内観開始となりました。

1日目は母について考えを集中しました。母親の事を考えると、自分が何もしてやっていないことに気がきました。1日目の内観が終わると早くも帰りたと思いました。

2日目の朝6:00に内観が始まり、夜20時まで続き、一日14時間の内観が辛く、一緒に内観を受けている藤原職員がいなければ、止めていたかもしれません。

3日目の内観が始まり、何も考えることができなくなり、面接の方に何を言っているか分からなくなりました。

4日目、5日目も集中することができなくなり、内観を止めたくなくなりました。

6日目、7日目となると、自分が何を答えているのかが分からなくなり、内観を終了となりました。思い出したことと言えば、自分が東京にいた20年間の生活が年齢ごとに少し分かるようになり、また、いろいろとやっていた事が分かり、内観が為になっている事に気づきました。多少は集中力が付いたように思えます。

今、内観のことを思うと、時間が経つのが早く感じたことがあり、その時は内観に集中していたのだと思います。よく一週間の内観を続けられたと思います。この一週間の内観がこれからの人生に役に立つようになれば良いと考え、この報告を終わります。



より良い人生を求めて

指導班 高尾純子

平成27年2月6日～2月13日

過去を調べる作業が進むにつれ、網の目のように張り巡らされた人との繋がりを感じ、また、私を育てるために、若かりし頃の父と母が必死で生きてきた姿を感じることができました。

竹元会長先生のお話の中で、「あなたは何処に行くのですか？あなたは何処に行こうとしているのですか？自分の人生はこれで良かったと思える素直な生き方をし、より良い人生を生きて下さい。」との言葉がとても印象深く、そのように生きて行きたいと心を新たにしました。集中内観を活かすために、日常的内観を大切にしようと思います。

過去の自分と出会うために

生活支援班 藤本要一

平成27年2月27日～3月6日

「内観」を経験すると、「これまでの自分がいかに周囲の人に支えられて生きてきたのか」を実感すると思います。「内観」は、他の精神療法の殆どが人間の罪を軽くしていく治療であるのに対し、罪深さをさらに追及して行くやり方です。しかし、その過程で愛に目覚めることで、気持ちがHAPPYになり、愛が下支えになることで下に落ちることがありません。

静かな場所に1週間もって、自分を見つめる時間を持つ。すると、心の窓が開かれて、自分の本当の姿が浮かび上がってきます。「内観」とはそういう、誰にでもできる自己発見の方法なのです。

内観は断酒会と同じ

生活支援班 藤原 亮

平成27年6月9日～6月16日

「内観」とは、断酒会と一緒に思いました。断酒会では、自分の体験談等を話されますが、お酒を飲んでいた時の事はあまり覚えていないことが多いようです。真剣に振り返った時、「あの時は家族に迷惑かけたな」と思うこと。自分の行動で相手がどんな気持ちだったかを考えた時、今後は迷惑かけてはいけなそうと思ひ、それが断酒の動機付けや断酒継続の力になったりすると思ひます。また、体験談を話すことで断酒への思いが強くなったり、話を聞いた方も何か考えさせられるということに似ていると思ひました。

私自身は、どう生きるのか、何を成すべきなのか、色々考えさせられることばかりでした。まずは目の前の仕事をキチンとやり遂げていくこと。全体を把握して今何をやらなければならないのか考え、行動することだと思ひました。

季節の旅行

平成27年2月25日(水)～26日(木)の一泊二日で、長崎のハウステンボスに行ってきました。今年は、19名とたくさんの参加がありましたので、マイクロバスをレンタルし、車中ではクイズをしたり、全員で歌ったり、レクリエーションを楽しみながらの旅行となりました。

宿泊先は、テーマパーク内の「ホテルアムステルダム」で、客室は全てオランダ調の家具使用で、本当のオランダ国にタイムスリップしたかのようなひと時を過ごすことができました。

ハウステンボス入国後は、街の中心部までクルーズ船で運河を渡りました。班行動では、チューリップ畑やペゴニアガーデンを散策し、季節の花々を堪能した班、シンボルタワーのドムートルンに上り、展望室で記念写真を撮ったり、記念ホルダーを作成して思い出作りをした班、体感型アトラクションや異空間アートを楽しんだ班等、これぞ「ハウステンボス」という世界を体感してきました。

夜には、中央広場特設ステージで「仮面舞踏会」が開かれており、皆さん仮面をつけ、変身した気分でダンスを楽しみました。また、ライトアップされた街並みやイルミネーションの中を散策し、異次元の世界を十分に堪能しました。「また来たいね～」との声が多くあがっていました。



花見

平成27年3月29日、大分県竹田市の岡城址に桜見学に20名の方が参加されました。岡城址は、滝廉太郎の荒城の月で有名であり、広い面積の至る所に城壁の跡が残っていて、たくさんの桜や紅葉などが植えられていて、桜、紅葉の名所にもなっています。

今年は例年より暖かく、桜の開花が早かったので、本来4月に予定していた桜見学を急遽変更し、開花に合わせて一足早く、3月下旬に見学することになりました。予定していた日は、生憎の曇り空でしたが、徐々に回復に向かい花見にふさわしい春の日となりました。3月とは思えないほどの温かさで、満開の桜の下で皆で弁当を広げ、美味しい昼食を楽しみました。

有名な滝廉太郎の銅像の前では、「荒城の月」をみなで歌いました。皆さん「この城はすごいなあ」「花がきれいね」と感動されていました。



平成27年度 年間行事計画

月	指導班	生活支援班	医務班	調理班	環境美化
4月	対話集会 誕生者食事会 創立記念式典	さくら見学 つつじ見学 春のスポーツ大会 バーベQ会 特別映画鑑賞会 卓球バレー交流会 (火の国チーム)	救急法 (三角巾の復習) 健康指導	創立記念弁当 栄養指導 	地域清掃 食堂床磨き(4ヵ所) 花壇草取り
5月	対話集会 誕生者食事会 ピアカウンセリング	ホビー見学 春の旅行(食事会) 春の旅行(日帰り) 熊救協スポーツ交流 会(パークドーム) 昌蒲湯		端午の節句献立	地域清掃 洗濯場床磨き お風呂場床磨き (3ヵ所)
6月	対話集会 誕生者食事会 遠慮祝い 心みがき講演会	カラオケ大会 地域防災訓練 卓球バレー大会 (県会長杯/八代) 	口腔ケア勉強会 		地域清掃 食堂床磨き(4ヵ所) 花壇草取り
7月	対話集会 誕生者食事会 AA九州沖縄地域 ラウンドアップ	卓球バレー大会 (青年会館/水前寺体育 館)	救急法 (三角巾の復習)	土用丑の日献立 七夕メニュー 	地域清掃 洗濯場床磨き お風呂場床磨き (3ヵ所)
8月	対話集会 誕生者食事会	ふれあい交流会 夏の旅行(食事会) 夏の旅行(キャンプ) 特別ビデオ上映会		お盆献立	地域清掃 食堂床磨き(4ヵ所) 花壇草取り
9月	対話集会 誕生者食事会 心みがき講演会 熊本地区オープンス ピーカーズミーティ ング	卓球バレー交流会 (かんわ) グラウンドゴルフ交 流会(三気の里) 	健康診断(第1回)	お彼岸献立 敬老の日献立 お弁当(外部仕入 れ)	西原村区役 地域清掃 洗濯場床磨き お風呂場床磨き (3ヵ所)
10月	対話集会 誕生者食事会 ピアカウンセリング	コスモス見学 カントリーパークばら 見学 秋のスポーツ大会 バーベQ会	救急法勉強会(全 体) 健康指導	ハロウィンメニュー 非常食メニュー 栄養指導 	地域清掃 食堂床磨き(4ヵ所) 花壇草取り
11月	対話集会 誕生者食事会 アクションフォー ラム	秋の旅行(食事会) 秋の旅行(みかん狩り) 紅葉見学 星野富弘美術館見学 騎人形見学 西原村老人健康ブリス ポーツ大会 ゆず湯 卓球バレー大会 (火の国杯)	心の健康勉強会 インフルエンザ予防 接種 		地域清掃 洗濯場床磨き お風呂場床磨き (3ヵ所) 
12月	対話集会 誕生者食事会 心みがき講演会 年納め式	なかよし祭り カラオケ大会 大掃除 ワックス掛け バーベQ会 餅つき 特別映画鑑賞会 	感染症予防勉強会 (県阿蘇保健所)	冬至献立 クリスマスメニュー 年越しそば 	地域清掃 食堂床磨き(4ヵ所) 花壇草取り 
1月	対話集会 誕生者食事会 年始め式	初詣 	救急法 (三角巾の復習)	おせち料理 七草粥 鏡開き献立	地域清掃 洗濯場床磨き お風呂場床磨き (3ヵ所)
2月	対話集会 誕生者食事会	カラオケ大会 楠本市見学 西原村のさく祭り 冬の旅行(食事会) 卓球バレー交流会 (千草寮) 		節分献立 バレンタインメニュー お弁当(外部仕入 れ)	地域清掃 食堂床磨き(4ヵ所) 花壇草取り
3月	対話集会 誕生者食事会 心みがき講演会 益城病院アメリスト 例会(年3回~4回)	冬の旅行(1泊旅行) 卓球バレー交流会 (火の国チーム)	健康診断(第2回)	桃の節句献立 お彼岸献立 お花見お弁当	西原村区役(野焼 き) 地域清掃 洗濯場床磨き お風呂場床磨き (3ヵ所)

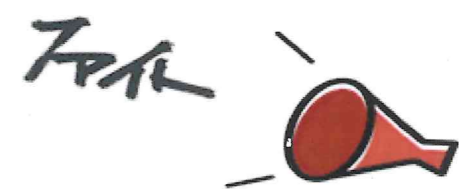
卓球バレー

卓球バレーを真和館に取り入れて早5年になり、今では15名の方が練習に参加されています。昨年は、職員1名が熊本県卓球バレー協会公認の指導員資格を取得しました。そのおかげで、日頃の練習の幅も広がり、熊本県卓球バレー協会の先生方のご指導も頂きながら、県内外の数々の大会に参加させて頂く中で、一人ひとりの力、そしてチームとしての力も、スタート時に比べると格段にレベルアップしました。数名の方はクラブ活動の域を超えるまでに力がついて来られた方もおられます。

今年の10月には、全国障害者スポーツ大会が和歌山県で開催されます。オープン競技ではありませんが、その大会では卓球バレーが行われる事が決定しました。西日本からは3チームがこの大会に参加出来ることになっていますので、真和館チームもその3チームの中に選ばれるよう、日夜練習に取り組んでいるところです。そのような中でも、レクリエーションとしての楽しさ、おもしろさを提供することを忘れないように心得、厳しさの中にも楽しさ、おもしろさを交えながら笑顔が絶えないクラブ活動であるよう取り組んでいます。

6月20日、第13回 萩・卓球バレー交流大会が山口県で開催されました。この大会は、山口県・佐賀県・大分県・熊本県から、全部で21チームが参加しました。真和館チームは、決勝リーグの2位グループ戦に進み、そのグループの中で見事1位となることができました。総合順位は4位でしたが、何よりこの大会では、現在日本一強いと言われているチームや、過去に国体出場経験のあるチームなど、たくさんの強豪チームと互角の試合をするができていました。

7月に開催される西ブロック公認大分オープン卓球バレー大会 兼 平成27年度全国障害者スポーツ大会オープン競技西日本代表戦に向けて弾みがついた大会となりました。



平成27年6月14日
県会長杯卓球バレー大会
会場：八代市公民館



平成27年6月20日
萩・卓球バレー交流大会
会場：萩ウエルネスパーク

「ふれあい交流会」中止のお知らせ
毎年、夏休みの時期に保育園児のみなさんや地域の児童・生徒のみなさまをお招きして開催しています「ふれあい交流会」を、今年は諸般の事情で、中止させていただきます。

「アルコール関係」講演会のお知らせ
7月26日(日)10:00から、鹿児島国際大学福祉社会学部 准教授 岡田洋一先生をお招きし、「アルコール依存症からの回復について考える」と題して真和館集会所で講演会を開催します。参加ご希望の方は、真和館まで電話等で事前にご一報ください。